

花嫁対策と婦人会加入促進への支援策について

花嫁対策がなかなか実を結べていないため、農業後継者だけに止まらず、商工業後継者も含め、町全体で異業種交流などでの対策が必要と考えます。また、仲間づくりや地域づくり、そして有事の支援などの大きな役割を担っている婦人会の会員が減少しつつあるため、役割を認識され、町として何らかの支援はできませんか。

農業団体との共催で実施しており、資質の向上を含めて研修および交流会を開催しています。近々5組目が誕生しますが、町全体で取り組めるよう検討します。(農業振興課長補佐)

婦人は、行政推進にとって重要な組織であると認識していますが、会員減少を憂慮している中で、活動をPRしながら婦人会と一緒に活動して、改善策を見出していきます。(生涯学習課長)

物産館の概況と今後の運営方針および町からの指導について

地元農産物など地産多消による販路拡大など大きな成果が得られ、大変助かっていますが、近隣の開業で売れ行きが低迷しているようですが、概況や運営方針はどうなっていますか。

物産館の販売額は、減少傾向ではありますが黒字で推移しています。

町政への関心を持っていただき、女性の視点をまちづくりに反映させる機会として模擬議会が開催されました。さまざまな意見やご要望などを真摯に受け止め、行政事務事業に反映できるよう検討します。(町民環境課長)

審議会や委員会などの女性登用率は、国や県に比べ高い本町では、多方面で女性の意見が反映されていると認識しております。地区懇談会も含めて、意見を反映できる環境づくりに努めます。(総務課長)

町内小中学校の統廃合について

熊本県では、高校の再編整備等基本計画に基づき統廃合が着々と進んでいます。八代市でも宮地東小中学校の休校や東陽地区、泉地区で小中学校の統廃合の計画があるようですが、児童・生徒にとって通学距離が延び、また精神的な負担も相当あると思います。

水川町では、人口減少による統廃合問題をどのようにお考えですか。

著しい児童・生徒の減少により、天草、阿蘇地域では合併前から学校規模適正化推進計画等を策定し、統廃合を進めています。法令・通知によると水川町のすべての学校は、小規模校と想定されます。

12学級以上が適正規模と想定され、教育条件や学校運営上で一定の学校規模の確保が必要のために、県内地域の

す。激化する産地間競争に打ち勝つためにも、今以上に新鮮で安心安全な旬な物を提供し、お客さまの立場に立った運営方針を目指します。(農業振興課長)

町長答弁

スマートインターチェンジの建設には、さまざまな目的があります。効果が出るように活用する必要があります。併せて、予測される地震災害への防災面も含め、道の駅との連携、立地要件の優位性を生かした事業を展開していきたいと思っております。若年世代花嫁対策については、結実できるよう全体的に取り組む、重要な役割を担っている婦人会に対し、お互いに連携しながら組織充実強化に努めていきたいと思っております。また、産地間競争が激化している物産館を農家所得の向上につながるよう今以上に魅力あるものにしてまいります。

母子保健推進員

田口多賀子さん(新村北)



町の健康および福祉関係について

いくつかの学校同士が統廃合を行っている状況です。

水川町では、住民基本台帳から推移すると、当分の間、学校規模は過小規模になる見込みでなく、現在計画を策定する段階とは言えません。しかしながら、今後人口減少を食い止める方策は不可欠だと思います。(学校教育課長)

過去と現在、そして将来を見据え、学校と保護者と地域が一緒になって、魅力ある学校環境づくりを目指して、常に教育委員会で検討していきます。(教育長)

病後児保育事業の取り組みについて

働く女性にとって病気の子どもの安心して預けられる施設が欲しいというニーズが高まっている中で、町内には無い状況にあります。財政的には厳しいと思いますが、町立で病後児保育施設はできないでしょうか。

多様性が高まる子育て支援事業に対応するため病後児保育事業があります。実施するためには多くの要件がありますが、ニーズ調査結果を踏まえて研究・検討していきます。(町民環境課長)

交通手段を持たない高齢者への支援策について

定期路線バスが全域を網羅していない本町で高齢者の交通手段が失われつつあります。町からの支援策として福祉バスや乗り合いバスなどを取り組めないでしょうか。

高齢化が進展している中でまちづくりには、暮らしを支える環境整備が必要です。実情に即した有効的な支援策を調査研究しております。今後も関係機関などと協議しながら、解消に向けた検討をしていきます。(総務課長)

町長答弁

病後児保育につきましては、しっかりと受け止めて、町立保育所の存続意義も含めた議論を行い、研究をしたいと思います。また、ますます進展が予想される高齢化に対する交通関係の利便性向上など諸課題の解決に向けて、しっかりと費用対効果を見極めて進めてまいります。

社会教育委員

古閑由美さん(中大野)



女性の意見に対する町政反映と教育環境について

女性の意見などに対する町政への反映について

毎年、町政懇談会が開催されていますが、女性の参加が少なく、発言しにくいので女性の意見などが届きにくい状況にあります。懇談会への女性参加率の向上策やこれまでと違った方法などが考えられませんか。

町長答弁

女性意見の登用につきましては、各組織または団体で行政に届くような機会を設けていただければ反映できるのではないかと思います。また、町内小中学校の統廃合については、存続を目指し、各学校で耐震補強大規模工事などを実施しており、少子化対策や人口流出阻止対策を講じてまいります。

女性模擬議員

伊藤 直江さん(北鹿野)

議長

岩崎 紘美さん(梶)

沼田 則子さん(北野津)

田口多賀子さん(新村北)

井副 陽子さん(新田)

松永 幸子さん(河原)

黒田 京子さん(東上宮)

本田智恵子さん(立神)

久保田ちさ子さん(梶)

前田るい子さん(中大野)

古閑 由美さん(中大野)

中島 憲子さん(下鹿島)

田上 利子さん(北鹿野)

岡村由美子さん(若洲)

濱田 尚方さん(梶)

町長講評およびお礼

女性模擬議会の開催に際し、心より感謝申し上げます。緊張の中、中身の濃いものばかりで、町にとって貴重な質問や要望・意見であったと思っており、これに対し、それぞれの担当が真摯に受け止め、緊張感を持って答弁しました。今回は、模擬議会という形式でのやりとりでしたが、どんなスタイルでも皆さまのご意見にしっかりと耳を傾け、今後の町政に反映する気概を持っており、男女に関係なく、大いに語り合えたらと思っております。議長の大役を担っていただきました伊藤さま、そして懇談会の会長さまをはじめ、会員の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、議場を提供いただきました議会の皆さまに心よりお礼申し上げます。